

## 総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 令和元年7月18日 午前 9時30分
- 2 閉 会 令和元年7月18日 午前11時00分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員

### 出席委員

教育長	山 中 榮 輔
教育長職務代理者	林 直 人
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	三 宅 眞砂子
委 員	児 島 塊太郎

### 欠席委員

委 員	上 岡 仁
-----	-------

- 5 会議に出席した者

教育部長	服 部 浩 二
学校教育課長	井 上 徹
学校教育課指導主幹	合 澤 菜穂子
こども夢づくり課長	小 野 玲 子
教育総務課課長	浅 野 竜 治
教育総務課主幹	梶 谷 美 奈

- 6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	林 直 人
---------	-------

- 7 付議事件

議案第18号	令和2年度使用小学校教科用図書の採択について	原案可決
議案第19号	総社市教育委員会表彰について	原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

【開会 午前9時30分】

**山中教育長** ただ今から教育委員会を開会いたします。この教育委員会には、議案2件が付議されております。まず、会議録署名委員ですが、会議規則第16条の規定により、私のほか出席委員中、林委員によるしくをお願いします。

では、議案第18号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」事務局から説明願います。なお、本件につきましては、教科用図書に関わる議案であり、案件の内容から非公開とさせていただきます。

【非公開審議】

**山中教育長** 次に、第19号議案「総社市教育委員会表彰について」事務局から説明をお願いします。

**池上教育総務課主幹** 事前にお送りさせていただいております要項を2枚おはぐりください。教育委員会表彰についてですけれども総社市教育委員会表彰規定によりまして教育芸術及び文化のために貢献し、その功績が顕著であって、他の模範となるものに対して個人及び団体を表彰しようとするものでございます。1枚戻っていただきまして本日皆様にご審議いただきたいのは、昨年6月に環境保全功労者等環境大臣賞を受賞しました総社北小学校の取り組みについてです。総社北小学校では、15年以上前から第6学年の児童が身近なヒイゴ池湿地の自然をテーマとした環境学習に取り組んでいます。ヒイゴ池湿地には日本一小さなハッチョウトンボのほか約800種の生き物、そして約280種の植物が生息しておりまして、環境省のレッドリストに指定されているような貴重な生き物や植物も見る事ができる自然豊かな湿地として知られています。総社北小学校の児童たちはヒイゴ池の豊かな自然を観察したり直接触れたりする活動を通して自然についての理解を深め自然に親しむと共に貴重な自然を守る活動に取り組んでいます。今から17年前、雨が降らない日が続くことによりヒイゴ池湿地のハッチョウトンボが激減したことがございます。この現象を目の当たりにした子どもたちはヒイゴ池湿地の環境を守っていくためには水源となる井戸が必要と考え、ヒイゴ池の自然環境について教わっていた北の吉備路保全協会と協力して井戸を掘り、ポンプを設置する計画を立てました。そして自分たちにできることは何かと考えた子どもたちは家庭や地域の人たちと連携しアルミ缶回収や廃品回収、自分たちが栽培した野菜のバザーなどで得た収益を北の吉備路保全協会に寄付し、ヒイゴ池のために使ってもらおうと考えました。児童は平成14年以来毎年約10万円前後の収益を寄付により水源である井戸の整備はもとより水質検査用の機器、水中ポンプなどの水の管理に必要な設備、またベンチや案内看板など自然観察に訪れる人のための設備が整えられました。これらの活動により子どもたちは身近な自然に親しみ、大切にしようとする心情だけではなく目標に向かって色々な人と協力し、やり遂げようとする態度が養われているところでございます。更にこの活動は岡山県より、備中県民局環境保全功労者表彰及び環境おかやま大賞、そして昨年6月には先程も申しましたけれども、環境省より、環境保全功労者等

環境大臣表彰 環境大臣賞を受賞しております。この優れた活動につきましては今後も継続されていく予定であると聞いております。さて、以上が総社北小学校の6年生の活動についてですけれども、教育委員会表彰としてご承認いただけるでしょうか。ご審議のほどお願いいたします。

**山中教育長** 何かご意見がありましたら、よろしく申し上げます。

**児島委員** よろしいですね。

**山中教育長** 国で先に表彰されているので、後付みたいな感じになります。

**池上教育総務課主幹** そういう関係もございまして、表彰式につきましては11月1日に例年行われている教育委員会表彰とは別に、8月か9月辺りに表彰式を行いたいと考えております。こちらについてはまた日程等調整させていただきまして決まりましたらお知らせをさせていただきます。

**山中教育長** 推薦者に市長の名前が書いてあるのは。

**池上教育総務課主幹** 総社市の環境課が環境省へ提出したときの調査書なので、市長に当たっているのだと思います。

**山中教育長** 推薦者は、校長が良いんじゃないの。校長先生か地域の人かコミュニティか。これだったら市長が表彰すれば良いので。

**池上教育総務課主幹** はい、分かりました。推薦者ですね。

**児島委員** あの池にブラックバスとかブルーギルとかいるんですか。

**山中教育長** いるんですよ。

**池上教育総務課主幹** ルアーフィッシングしたい方は自分たちがしたいからということでブルーギルですとかブラックバス等、放し入れるわけなんですね。そういったものの駆除も子どもたちと一緒にされています。

**山中教育長** 守っている人たちもぜひ表彰してあげたいよね。

**池上:** 北の吉備路保全協会さんにつきましては、もう環境省のほうから別個でいただかれていますので、今回は6年生です。

**山中教育長** 分かりました。

**林職務者代理** 北小学校の6年生って言ったら今の6年生みたいな感じがするけど、歴代の6年生ですよ。

**池上教育総務課主幹** そうです。ずっと継続されているということもございまして、この内容自体が素晴らしいということで。

**山中教育長** よろしいでしょうか。

(質疑なし)

**山中教育長** それでは、第19号議案については承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

**山中教育長** ありがとうございます。

続きまして、私の方から報告をいたします。6月7月にかけて、幼小中37校中31校を

回りました。結構現場によって随分差がありました。それは、校長の力が大きいと思います。

それから二点目は7月6～7日と昭和・下原の復興祭に出席しました。追悼式が7月6日ということで、伊原木知事も加藤勝信さんも来られて、炎天下で一時間半くらい式典があったんですけども本当にそういう意味では、追悼式に対する市長の思いがあったんだろうと思います。

それから三点目はスマホの持込ですが、ヒアリングをいたしました。校長会は特例があるので条件付で良いということでした。県の教育委員会は、鍵本教育長も小中学校は駄目だ、条件付けてやりなさいと。総社市のPTA会長の石部さんも、私としてはノーだと、特別にあるケースの場合は認めても良いけれど。それから三宅議員もノーでした。教職員組合の鳥越執行委員長は組合が言う立場ではないということでしたが、小松書記長のほうは絶対駄目だと。鳥越さんも個人的には、まあ駄目だろうと。教員の立場として小松さんは言われたんだろうと思いますけれどね。まあそんな感じで全般的にはノーで、スマホの教育を、親も含めてやるということと、ルール作りをきちんとやって欲しいということを今、県教委に言っています。これは県全体でやるべきことなので我々だけでやるわけにはいかないと思っています。ただ病気であるとか、通学路が一人だと危険だとか、そういうところはキッズ携帯とか、そういう別の切り口でみたら良いんじゃないかと思います。以上です。

**山中教育長** 何かご意見がありましたら。

**児島委員** 今日何かありましたよね、スマホでいじめがね。ああいうことになるよね。

**山中教育長** そういう教育をきちんとしておかないとね。今、中学校で6割くらい持っているのかな。小学校も4割から5割。それを教育しておかないと、小学校のときから。親も教育ができないし、それが喫緊の課題だと思います。今、教育事務所の日名所長には言っているんですけども。明日また、教育事務所との懇談会とか意見交換会があるのでそこでもちょっと話をしておこうと思います。以上です。よろしいでしょうか。

(質疑なし)

**山中教育長** 続きまして、「岡山県学力・学習状況調査結果について」報告をお願いいたします。

#### 【事務局説明】

**山中教育長** ただいまの説明にご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

**三宅委員** スマホの問題もありましたけど、部活の時間がかなり取っているのかなあと思います。うちに来る子どもたちが、朝練が疲れるとか朝起きれないとか言うんですが、朝練いるのかなあ、30分早く起きて行って朝練をして、翌日休むというのはちょっとという感じがします。特に、急に暑くなって熱中症気味で疲れて帰ってきてという感じなので、働き方改革も含めて、朝の時間の朝練というのが本当に効率的なのかどうかというところを検討していただきたいと思います。どうしても必要なのかどうか。アメリカかどこかの報告では授業の開始時間を30分遅らせたなら子どもたちの出席率が良くなったという話もありま

す。今、成長している子どもたちは眠る時間が必要なのでというところで朝練はちょっとどうなのかなあと思いました。

**山中教育長** ありがとうございます。

**児島委員** 私、総社の山手の方に住んでいるんですけど、最近子どもたちが外で釣りしたり、小さなバケツ抱えて網を持ってうろうろしたりする姿を最近一度も見たことない。どうしているのでしょうか。今頃田んぼへ水が張っていて、溝に水がいっぱい流れてて、お百姓さんは注意するかもしれないけど、そういうところで小さい子を全然見ない。今、三宅先生、が朝練について言われていたけど、学校が済んで先生たちが例えば昆虫採集するとか、自ら現場へ行って課題を解決したり、先生方がいろいろ指導したりすればそういうことはできるんだろうと思いますけど。若い人たちが虫を手で掴めない。そんなの本当かよと言いたくなる。我々の時代のことを言ったら笑われるけれども虫ぐらい、みんな蟬くらい掴まえますよね。それもできないというのはどうなのかなと思うんですけど。

**合澤学校教育課指導主幹** 確かに見かけないですよ。

**児島委員** 夏休みになったなあという感覚が全然無いです。昔は本当にお爺ちゃんやお婆ちゃんと一緒に溝へ行って魚すくっていたような小さな子どもたちがいっぱい居ましたけれども。もう全然居ませんけど。

**合澤学校教育課指導主幹** 異常な暑さということもあって、空調の効いた部屋にいるのではないのでしょうか。

**山中教育長** 生活のスタイルが全く変わったんだと思います。放課後児童クラブは土日もやっているし、そこへ半分くらい行っちゃうんですよ、三分の一かな。それから塾に行っている子がいるのと、それからスポーツクラブに入っている子。だから外で遊んでいる子が殆どいない。そういう生活スタイルに変わったんですね。それで、何人かが抜けると子どものコミュニティができない。

**児島委員** 楽しいと思うんですけどね。虫を採ったり魚すくったり。

**山中教育長** それを学校が代用しないといけない。チャンスを与えないといけないんだから難しい話ですね。

**三宅委員** 各学校に。

**山中教育長** 全部学校がやらないといけなくなる。

**井上学校教育課長** 生涯学習課が実施する水生生物を採取するようなイベントなんかは大変人気で、すぐに定員が埋まってしまいます。

**児島委員** 子どもの中にはそういう気持ちはいっぱいあるんだと思います。そういう企画をしたらいっぱい人が集まる、恐竜をやったら、人がわっと来るとかね。子どもの気持ちの中には絶対そういうのがあると思うんだけど、そこをチョイスできないと言うのはね。

**池上教育総務課主幹** 実際に企画していた側です。小学校4年生で生き物・昆虫と植物の、一年間どんな風に生活が変わっていくかと勉強するんですけど、教科書では実際に野原に行っておんなんな生き物を捕まえて観察しようというのがあるんですが中々学校の近くにそ

ういった雑草の生えているようなところが本当に少なくなりました。以前常盤小学校に勤めていたときには丁度裏に雑草が生えているところがあったのでそこに連れて行ったりとか。子どもたちは何時間でもいたいというような感じで、生き物を探し出すんですね。本来は子どもたちは生き物が凄く好きなんですけれども中々それに触れさせてあげられるような場所が難しいなと思っています。なので、こちらの方が捕まえて来てみたりですとか捕まえられる子どもが捕まえてきて観察したり。それからモンシロチョウの観察等があるんですが、これについては畑にキャベツを植えて産卵させてそれを観察するというようなことはしているんですけど中々自然の場所で子どもたちが生き物に触れるという機会は本当に少なくなってきましたし、小川に行って魚をとってきても良いよと言ってあげたいんですけども、こういったご時勢でするので中々田植えの時期には水が増えているので気を付けようねというようなことも学校からは言わないといけないので。まあ行くときには保護者の方と必ず行くんだよとなれば、忙しいご家庭は中々一緒に行けないというようなことも出てきたりしていますが、本来は子どもたち大好きだと思います。

**児島委員** 総社市が率先して、市の共有している山を自然に返して、そこへ子どもを集めて何かやるとか。何かそういうのをしてあげると良いと思うんですけど。

**池上教育総務課主幹** 環境課のほうで自然学校をされていまして、そういったところで募集をかけてキャンプとかしています。

**児島委員** それは、ごく一部でしょ。

**三宅委員** 私も子育て王国そうじゃのところでイベントを企画するんですけど親と一緒にするというのはあまり人気が無くて、子どもだけ預けるといものが人気があるので、その辺りもなかなか難しいなと思います。

**児島委員** たとえば小学校の敷地内に自然の森みたいな、小山かなんかを作って、鳥や昆虫やいろんなものが寄ってくるようなものを作れば、そういうところで虫を採ったりそんなこともできるのかなあと。危ないからって綺麗にし過ぎだよね。小学校もそうですけど、とにかく怪我をしたらいけないというね。

**山中教育長** 遊具でも、使いようによってはトラブルが起こるけれども、だけどそれは自己責任だからね。親がちゃんと教えておけば良いんで。この間そういうのがありました。幼稚園の遊具に小学校の子どもが来て足が引っ掛かって落ちたんですよ。普通はそんな使い方しないんだけどね。だけどそれで親がちゃんと誤りに来られましたからね。こちらもちちゃんと対応したから良かったんだと思います。

**児島委員** 小中学校で夏休みの宿題って結構提出すること昔からあったじゃないですか。あれで昆虫採集とか自然に触れて、そういうものを作ったり提出する子ども達っているんですかね。

**合澤学校教育課指導主幹** いますが、減りました。何年も前の経験ですけど、チョウを採取してきて提出する子もいましたけれど、そういえばここ10年くらいは見えていません。

**児島委員** 宿題にそういうことを求めれば親が必死になって子どもに時間を設けたり、お

父さんが会社休んでもしなくちゃいけないと思うんじゃないかな。そういう自然に触れることを学校が求める。夏休みの友じゃないけど、こんないっぱい課題を出しても外に行けないようなことにしてしまっている。孫が夏休みの宿題だと言って、凄いですよ。あんなもんしたら一日家に居なくちゃいけないなと思うわね。あんまり言うと先生の負担が増えるかもしれないけど。

**井上学校教育課長** 今、ご指摘のところについては、学校現場はまだそこまで追いついていないんですけど枠組みとしては文科省が示しています。夏休みの長期期間中にこれまで学校の中でやっていた総合的な学習の時間、例えば自然体験であるとか福祉体験であるとかいうものを夏季休業中に子どもたちが時間をしっかり使って課題としてこれを授業時数にカウントできるように形を文科として示してきているので、今後はこういった流れというのは進んでいく可能性は出てきています。もちろんそこには学校が研究テーマを与えて計画を立てて、子どもが実際にやって持ってくるという一連の評価のサイクルは課せられるんですが。これに期待はしています。

**児島委員** 成績が悪くても健康で、バリバリいろんなことができるような子どもたちができれば良いと思うんですけどね。算数が1点2点上がったからと言って健康を損ねるようじゃ何にもならない。

**林職務代理者** やはり教育の基盤は落ち着いた教育環境かなあということをお考えれば総社市の先生方はよく頑張っているんじゃないかなあという感じはします。一方で授業時数と言ったときにどれくらいしているのかなあということと、もう一つは生活習慣といえれば親の意識は一体どうなのかなあということと。子どものそういった意識というのはわかりますけど保護者はどうなんですかね。調査は難しいですけども何かそういったところも変えていかないと中々難しいと思います。できるだけ教育してやってね、見てくださいねということをお願いしたこともあるんですけど。ちなみに、授業時数はちゃんと確保できているんですかね。

**合澤学校教育課指導主幹** はい。できております。多いくらいです。

**林職務代理者** ああ、そうなんですか。

**合澤学校教育課指導主幹** それも多過ぎると良くないということで文科から標準時数に近づけるようにというふうな指示がありました。ごく最近。

**林職務代理者** そうなんですか。

**井上学校教育課長** 学習指導要領の総則に定められた標準時数を年度当初設定して自然天災なんかでクリアできなくても、それは教育課程をクリアしたということにするというような通知も出てくるということになってきている。

**林職務代理者** それはそうですね。

**井上学校教育課長** 総社市の場合は殆どの学校が算数であればプラス10時間とか今まで上乘せしてきているので、もしインフルエンザ等で学校閉鎖になった場合でもクリアできるだけの時数がもともと設定しております。

**林職務代理者** 35週を標準として計算していますが実際は40週ぐらいの感じでなされているんじゃないかなと思います。学校行事とかその辺を引いて、大体トントンかなあという感じがしますけれども。今度また新しい教科書になりますけれども、やっぱり工夫して意気を感じてというかそういうふうなところを研修とリンクさせながら、そういうふうな部分もあっても良いんじゃないかなということを思います。どういうふうにしたら良いのかなあいつも思っているんですけども非常に二極化しているなあという気がちょっとしてらるんで。

**山中教育長** よろしいでしょうか。他に何かご意見がありましたら。

(質疑なし)

**山中教育長** それでは、次回の教育委員会の日程についてですが、既にご承知のとおり、8月20日(火)午後2時00分から、総社市総合福祉センター2階教養研修室で行います。9月の教育委員会の日程を調整したいと思いますので、事務局から提案願います。

(9月の教育委員会について日程調整)

**山中教育長** では、9月の教育委員会は、9月24日の午後2時から開催いたします。それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

【閉会 午前11時00分】